

ドン・キホーテのパンパシHD、カネ美食品にTOB

2022/7/11 18:58 | 日本経済新聞 電子版



ディスカウントストア「ドン・キホーテ」(東京都目黒区)

ディスカウント店「ドン・キホーテ」を運営する[パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス](#) (PPIH)は11日、[カネ美食品](#)にTOB(株式公開買い付け)を実施すると発表した。カネ美も同日、TOBに「賛同」を表明した。

期間は12日から8月9日まで。ファミリーマートはカネ美株の約12%にあたる114万5000株を保有しており、全株を最大32億円で取得する。買い付け価格は2713円で過去3カ月間の終値の単純平均値とした。

PPIHはカネ美株を議決権ベースで27.02%保有する筆頭株主。2019年にファミマから相対取引で一部のカネ美株を譲り受けていた。

カネ美はファミマにおにぎりや弁当を販売しているが、苦戦が続いている。PPIH傘下とすることでドン・キホーテの各店舗などに総菜商品を提供し、収益の改善をねらう。

PPIHは19年、ファミマからユニーの全株を取得し、完全子会社化した。ドン・キホーテにユニーを融合させ、店内にユニーの総菜や生鮮食品を置き、ファミリーやシニアなどの顧客層をつかんで

いる。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.